

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）
(多施設共同研究用)

西暦 2018 年 8 月 17 日作成

研究課題名	化学療法未施行の去勢抵抗性前立腺がんにおける、アビラテロンまたはエンザルタミドからドセタキセル、ドセタキセルからアビラテロンまたはエンザルタミドまたはカバジタキセルの順次投与の有効性を比較評価するための後方視的研究
研究の対象	2011 年 1 月 1 日から 2017 年 10 月 31 日化学療法施行歴のない去勢抵抗性前立腺がんに対して、ザイティガ錠（一般名：アビラテロン）からイクスタンジ錠（一般名：エンザルタミド）、エンザルタミドからアビラテロン、アビラテロンまたはエンザルタミドからタキソテール（一般名：ドセタキセル）、ドセタキセルからアビラテロンまたはエンザルタミドまたはジェブタナ点滴静注（一般名：カバジタキセル）への順次投与を行った患者さん
研究目的 ・方法	化学療法施行歴のない去勢抵抗性前立腺がんにおけるアビラテロンからエンザルタミド、エンザルタミドからアビラテロン、アビラテロンまたはエンザルタミドからドセタキセル、ドセタキセルからアビラテロンまたはエンザルタミドまたはカバジタキセルへの順次投与を行った患者さんの治療開始からの生存期間、有効性を評価し、好ましい順次投与を明らかにする。
研究期間	西暦 2018 年 10 月 15 日（承認日）～ 西暦 2018 年 12 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	<ul style="list-style-type: none">・ 化学療法歴のない去勢抵抗性前立腺癌における好ましい薬剤投与順序を解析するために、下記の情報を確認します。・ 患者背景（年齢、患者さんの日常生活の制限の程度）・ 腫瘍因子（前立腺癌の悪性度、骨転移の有無、肝転移の有無、肺転移の有無）・ 治療歴（前治療歴、前治療薬剤、後治療歴）・ 各薬剤の治療期間および中止理由・ 各薬剤の治療開始時における血清 PSA 値、血清 ALP 値、血清 LDH 値、ヘモグロビン値・ 各薬剤の治療期間中の血清 PSA 値、血清 ALP 値、血清 LDH 値の推移・ 生存の有無
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
外部からの試料・情報の取得と保管	該当なし

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）
(多施設共同研究用)

研究組織	東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科 教授 鈴木啓悦 北里大学病院泌尿器科 講師 田畠健一 国立がん研究センター東病院乳腺・腫瘍内科 医員 松原伸晃 横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器腎移植科 河原崇司
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p> <p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科（研究責任者）河原 崇司 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-1962</p>	